

この子らと

令和8年6月号

命輝く子ども

わくわく鹿児島中央認定こども園



園長 川口公男

ひよこ組



こあら組



こあら組



きりん組



りす組



ぞう組



ぞう最後の親子遠足



親子遠足は、保護者のみなさまと子どもとの共有の思い出づくりも目的です。そのことに加えて、主に送迎時の交流に限られがちですので、保護者のみなさま同士の交流、保護者と職員のみなさまとの交流の三つを目的としています。

今回の親子遠足では、三つの目的が達せられるように職員も計画を一生懸命に立てていました。

お母さん、お父さん方に笑顔がたくさんありましたので合格点かなと思っていますが、年末の保護者による評価等でご意見をくださると改善の参考になりますのでよろしくお願いいたします。



早朝から入念な打合わせ・準備中の職員

楽しい親子遠足、思い出に残る親子遠足となることを願いながら、シミュレーションを繰り返す職員

火災・地震・津波等災から子どもの命を守れる園をめざして



「これまで毎月、避難訓練を実施してきたが、実際に災害が起きた時に『子ども一人一人の命を守れるのか』という新たな問いが発せられました。議論を重ねました。

その中で「様々な時間に、様々な活動場면을細かく想定した避難訓練をやりましょう」、そうすることで、子どもたちの命を真に守れるという意見が出ました、その一つが「上履きを履かせる」でした。

土踏まずの形成など「はだし教育のよさ」もありますので基本は「自分の保育室内は、はだしでも上履きを履いても担任判断」としています。

園内の火災、地震、津波等の避難場所は、「**西田小学校**」です。

子どもたちの活動が「**2階以上の場合**」の避難経路は、「**非常階段**」です。



0歳児は職員が「抱いて」、1歳児は「お散歩カート」で2歳児以上は上履きを履いて、徒歩となります。（はだしは、ガラス、釘、石ころなど危険がいっぱい）



認定こども園である「**本園の10時～14時**」は「**教育の時間**」です。

教育の時間とは、保育者が「**幼保連携型認定こども園教育・保育要領**」に添った教育をすることです。例えば、お散歩にも教育的意図があります。このことについて、7月号で説明いたします